

社会资本整備総合整備計画

豊丘地区都市再生整備計画

フォローアップ報告書

豊丘地区

平成29年6月

長野県須坂市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等	理由	改善策の方向性	総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み							
指標1 地域交流センター使用人數	人/年	5,574	6,000	6,000	確定	○	あり	●	6,791	H29年4月	○	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	事業の実施により、目標とした数値を達成できた。	
					見込み	○	なし							
指標2 子育て環境に対する影響度	%	78.0	90.0	86.7	確定	○	△	あり	—	H 年 月		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる		
					見込み		△	なし						
指標3 避難所耐震化率	%	33.3	100	100	確定	○	○	あり	—	H 年 月		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる		
					見込み		○	なし						
指標4					確定			あり	—	H 年 月		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる		
					見込み			なし						
指標5					確定			あり	—	H 年 月		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる		
					見込み			なし						

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等	理由	改善策の方向性	総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み							
その他の数値指標1					確定				—	H 年 月		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる		
					見込み									
その他の数値指標2					確定				—	H 年 月		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる		
					見込み									
その他の数値指標3					確定				—	H 年 月		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる		
					見込み									

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を継続させるために 行う方策	地域コミュニティーの促進及び子育て環境の向上	・公民館活動、地区行事等の余暇活動の充実を図る。 ・小学校、保育所等設備の向上を図る。	・公民館活動、地区行事等の開催により賑わいの 創出につながっている。 ・保育や学びやすい環境が形成されている。	地区内への移住、人口定着を図るため暮らしやすい住環境、公共 施設等の整備を図っていく。
	防災施設等の整備・向上	防災拠点施設を含め更なる地域の防災力向上を図る。	災害時における避難場所等の防災性、安全性が向 上している。	更なる地域の防災力の向上を図る。
改善策 ・まちづくりの目標を 達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題 への対応策 ・その他 必要な改善策	老朽化した道路の整備	・道路の維持修繕等整備を行なっていく。	よりいっそう安心安全な交通が可能となるよう整備 を行なっていく。	優先順位を見極めながら順次整備を行なっていく。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的な内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
なし			